

令和6年度 第1回市長タウンミーティング概要

と き：令和6年4月12日（金）
午後7時～8時30分
ところ：文化ホールくるる
参加者：103人

○市長あいさつ

（市長より、令和6年度の施策・予算についての説明が行われました。）

○意見交換

質問（市民）

質問がいくつかあります。1つ目の質問ですが、EV（電気自動車）の購入費補助制度に関して、EVが普及するためには、購入する際の補助だけでなく、充電設備等のインフラ整備が必要だと思いますが、市の考えをお聞かせください。

次に、刑法犯認知件数が以前より少なくなっているというお話でしたが、体感治安は悪化しているように感じています。女性が駅からの帰り道に後をつけられた、などという話も聞いています。私自身も娘がいるため、遅い時間に駅から一人で帰らせるのは不安で迎えに行ったりもしています。市長は蕨市の体感治安についてどのように認識し、対策をしていくお考えでしょうか。

次に、蕨市では、外国籍の人が増えていますし、今後も増えていくだろうと思います。これから長く定住するような外国籍の方との向き合い方について、どのようにお考えでしょうか。

最後に、不登校について、とても大きな問題だと思っています。各学校で、先生方ががんばっているという話も聞いていますが、市としてはどのように対策を考えていますか。

回答（市長）

EVの普及については、EV自体がまだまだ高額ですので、まずは購入費の補助を実施することとしました。EVの普及には、併せて、充電設備等のインフラの整備が必要であるということは認識していますが、国や県で検討が進んでいるものと思いますので、市としても、今後、連携しながら、取り組みについて考えていきたいと思っています。

体感治安についてですが、蕨市は刑法犯認知件数のうち自転車盗が大きな割

合を占めており、件数の数字ほどには治安は悪く感じないのかな、という印象を持っていますが、一方で、夜に駅前で知らない人に声をかけられて怖かった、というような相談をいただいたこともあります。照明を明るくすることや防犯カメラの設置による抑止、そして、警察と連携し危険な場所を集中パトロールする、ということが防犯上たいせつなことです。今後とも取り組んでいきます。

外国人の方についてですが、文化の違いがあるので、日本の文化、ルールを知っていただくことでお互いに気持ちよく暮らしていけるのではないかと思います。特にごみ出しなどについて、これまでの、ごみの出し方の多言語版に加え、4月からは転入者に、日常生活に必要な行政サービスや生活に役立つ情報をまとめた外国人生活ガイドブックを配布して、啓発を進めています。また、併せてごみステーションにおけるごみの出し方の外国語表記も順次進めています。また、昨年オープンした市役所新庁舎には、外国人総合相談窓口を設け、英語と中国語のできる職員を配置するなど取り組みを充実しています。

不登校についてですが、コロナ禍以降、小中学生の不登校が全国的に増えており、蕨市においても同様の傾向にあります。不登校の子どもたちへの支援充実は、5期目のマニフェストにおいても掲げていますが、蕨市の取り組みとしては、市の独自事業として、スクールソーシャルワーカーを配置しているほか、各中学校には、学校までは通えるけれど、教室には行けないという生徒の居場所となるステップアップルームを各中学に開設しています。このステップアップルームに専従の職員を配置するために、今年度は採用活動等の準備を進めています。また、学校に来ることだけでなく、フリースクールなどとも連携しながら、すべての子どもたちの学びの場を保障していくことがたいせつだと考えています。

質問(市民)

障害者の入所施設を作ってほしいです。蕨市では、広い敷地が必要となる2階建ての施設を建てるのは難しいかもしれないが、4階建てとし、職員の人件費を市が補助してくれれば、可能性があるのではないかと考えています。また、保護者が感染症にかかり、障害のある子どもが感染症にかかっていないときに、市立病院で子どもを預かってほしいです。

回答(市長)

国は入所施設から家庭、地域に移行させようとする方針ですが、私自身は、やはり入所施設は必要なものであると考えています。蕨市内で施設を新設するとなりますと、土地の確保や運営法人の理解等も必要になってきます。蕨でもどういった条件なら可能なのか、社会福祉法人とも協議を行っています。現在、南部圏

域では、蕨市と戸田市に障害者の入所施設がない状況ですが、戸田市と連携して整備ができないかということも相談しているところです。施設整備については、引き続き、大事な課題として取り組んでいきたいと思ひます。

また、保護者が感染症にかかった際に障害を持つ子を預かることについては、医療行為でないため市立病院での対応は難しいかもしれませんが、市立病院の建替えに当たって今後策定していく基本構想・基本計画の中で検討していきたいと思ひます。

質問(市民)

町会で環境衛生担当の役員をしています。折り畳み式のゴミ回収ボックスが設置されて便利に感じていますし、今年度も増設するというこゝで、とてもありがたいです。

駅前町会ということゝ特徴的な課題なのですが、事業系、特に飲食店のものと見受けられるごみは、ごみステーションに出されており、回収ボックスに入りきらず、網をかけたりして対応しています。生活環境係が店舗を訪問、指導してくれているのですが、改善されません。実効性のある対応をお願いします。

また、賃貸住宅に住む外国人のごみ問題については、本来オーナーが借主に指導すべきですが、なかなかできていません。生活習慣が異なるため、ごみの分別が難しいようですが、市からも転入時に指導していただければ、外国人の皆さんもできるようになると思ひるので、お願いしたいです。

回答(市長)

まず、前提として事業系ごみは、家庭ごみのごみステーションに出すことができず、個別に業者等と契約し、処理すべきものとなります。私自身も駅前でごみが散乱しているようなステーションを見かければ、対応を指示していますが、担当にご連絡をいただければ、市から該当箇所の店舗の管理者等に話をさせていただきます。市としては改善されるまで指導していきたいと思ひますし、町会の公衆衛生担当の皆さんとも連携し、解決を図ってまいります。

外国人住民のごみ問題ですが、ごみステーションの外国語表記等については先ほどご説明したとおりです。また、特に賃貸住宅については、ご指摘のとおり、家主さんを含めた指導がたいせつだと思ひますし、そのマンション等における適切なルールを決めていただくことも必要だと思ひます。市としても引き続き、転入者への啓発を含め、しっかり対策に取り組んでいきたいと思ひます。

質問(市民)

水道の耐震化が進んでいるとのお話でしたが、能登では、震度7の地震で長期間の断水が起きています。私はマンションに住んでいますが、今回の地震を受けて、災害用に井戸を掘ろうか、という話も出ています。飲料用だとかなり深く掘らなくてはならず、費用もだいぶ掛かります。蕨では能登のようなことは起きないと考えてよいのでしょうか。

また、災害時の避難所について、中東小までは15分かかり、実効性のある避難所配置となっていないのではないかと思います。文化ホールくるるはもっと近いですが、災害時に帰宅困難者の一時避難所にもなるようです。帰宅困難者の支援については、JRの責任において取り組むべきことではないかと思います。いかがでしょうか。

最後に、町会運営について、メンバーの高齢化によって町会が総会を開くことが困難となり、役員会や理事会をもって総会に替えて運営しているところがあると聞きます。これは地方自治法上も問題であると思われませんが、市の見解をお聞かせください。

回答(市長)

まず、水道管路の耐震化については、震度6強に耐えられる程度の耐震性となっています。ただし、震度6強の揺れには耐えられても、断層の真上を通過している場合など、すべての管路に確実に被害が出ないとは言えません。また、蕨市の水道水は、県の浄水場から届くものが65%、市内の井戸によるものが35%となっています。災害時に県の浄水場からの水が届かなくなったとしても、井戸水の汲み上げを増やし、一定程度対応することができます。いずれにしても地震等の災害について、確実な被害予想をすることは困難ですが、災害用の井戸を確保することができるのであれば、それが安心だと思いますし、総合的に検討の上、ご判断いただければと思います。

避難所については、前提として、ここに住んでいる人が使用できるのはこの避難所だけ、と定められたものではありません。その上で、駅前地域では帰宅困難者と地域住民の双方が避難できるだけの収容数を確保することが課題であると考えています。先月、ルネサンス蕨と災害時の協定を結び、災害時に一時避難場所としてルネサンス蕨の施設を開放していただけることになりました。民間の力もお借りしながら、引き続き取り組みを拡充していきたいと考えています。

町会の運営についてですが、町会は住みよいまちづくりに重要な役割を果たしており、その運営においてもっとも重要な場として総会が定められています。また、町会の会員から集められた町会費や市からの補助金など、運営や会計の透明性を確保するという観点からも開催は欠かせません。総会は、すべての町会で

毎年実施していただいています。ただし、コロナ禍の時期は、実際に集まらず、書面開催による総会が開かれる例もありました。昨年辺りからは、再び実際に集まったの総会に戻りはじめています。開催形式はさまざまですが、私も総会は町会にとってたいせつな場だと考えています。

質問(市民)

市立病院の移転建替えについて、私は大英断であるし、心強く思っています。私は胃がんの経験があるのですが、がんは患者も非常に多く、また早期発見がとて重要な病気であると考えています。新しい市立病院ではがん対策についてどのような構想があるのでしょうか。

回答(市長)

がんは罹患する人が多く、また一方で、早期発見で重篤化を防ぐことができるなど、その対策は市としても重要な課題です。対策として大事なことが2つあると考えています。1つ目が、がん検診の受診率の向上です。以前は集団検診が多かったものを、身近な医療機関で受けられる個別検診の割合を増やすなど、受診しやすくしているところですが、引き続き検診の啓発を進め、受診率の向上を図っていきます。2つ目が、検診機関の充実です。現在、保健センターの3階に健診センターがありますが、新病院での整備について、今後、市立病院の基本構想・基本計画策定の取り組みにおいて、大事なテーマの1つとして検討していきたいと思います。

質問(市民)

蕨市の体感治安について、先ほどの市長のお話では西口を想定しているようでしたが、東口も同様に治安がいいとは言えないですし、声を上げてはいないが、迷惑行為等を受けている人も一定数いるということ、市長には知っていただきたいと思います。

先月、刑事課の刑事さんと話す機会があつて、自転車盗は減っているがその他の犯罪が増えていると聞きました。また、新N I S Aに関連した詐欺も増えているとのことで、皆さんに啓発をしてほしいと思います。

回答(市長)

蕨駅東口側の迷惑行為としては、市外ではありますが、客引きに関する相談が

届いています。客引きは県条例違反でもありますので、警察と連携して対応していきたいと思います。

令和5年の蕨市の刑法犯認知件数は695件でした。そのうち、自転車盗が256件、令和4年度が248件でしたので、微増です。もちろん、自転車盗であればいいということではありませんし、去年は車上狙いなどが増加していますので、今後も様々な犯罪に対し、警察と連携して対応していきたいと思います。

(市長より、詐欺等についての最近の傾向と参加者の皆さんへの注意喚起あり)

※ご質問いただきました内容に関して、担当課の確認など、その場でお答えできなかった内容を、加筆・修正して公開しています。